

平成17年度学術創成研究費中間評価結果

研究課題名	強相関電子系ナノワイヤー金属錯体の科学	研究代表者名	山下 正廣
-------	---------------------	--------	-------

1 研究を推進する必要性について

推薦の趣旨に照らし、採択時以降の関連研究分野の学術動向を踏まえた上で引き続き研究を推進する必要性は高いか

- ア．高い
- イ．やや高い
- ウ．やや低い
- エ．低い

コメント：独自に見いだした非線形光学特性を発展させようとの独創性の高い研究である。

2 研究の進捗状況について

(1) 当初の研究目的に沿って、着実に研究が進展しているか

- ア．予定以上に進展している
- イ．概ね予定どおり進展している
- ウ．やや遅れている
- エ．遅れている

コメント：着実に進行中である。

(2) 今後の研究推進上、問題となる点はないか

- ア．研究経費
- イ．設備
- ウ．組織
- エ．その他

コメント：特になし。

3 これまでの研究成果について

当初の研究目的に照らして、現時点で期待された成果をあげているか (又はあげつつあるか)

- ア．期待以上の成果をあげている
- イ．概ね期待された成果をあげている
- ウ．期待された成果をあげつつある
- エ．期待された成果はあがっていない

コメント：非線形光学効果の研究は期待に沿った成果をあげている。よりシステマティックな制御を期待したい。

4 研究組織について

研究者相互に有機的に連携が保たれ、活発な研究活動が展開される研究組織となっているか

- ア．有機的に連携が保たれている
- イ．あまり有機的に連携が保たれていない
- ウ．その他

コメント：一層、理論との連携を深めることが望ましい。

5 研究経費の使用状況について

研究経費は効率的・効果的に使用されているか

- ア．効率的・効果的に使用されている
- イ．あまり効率的・効果的に使用されていない
- ウ．その他

コメント：他の経費があるので、互いに有効に活用してほしい。

[研究課題の総合的な評価]

区分	評価基準	チェック欄
A +	研究の更なる発展が期待でき、より一層の推進を期待する	
A	順調に研究成果を上げつつあり、現行のまま推進すればよい	
B	概ね順調に研究が進んでいるが、今後一層の努力が必要である	
C	現状において研究成果が期待できず、研究経費の減額又は研究の中止が適当である	

[総合的な評価についてのコメント]

コメント：一次元構造を有するハロゲン架橋ニッケル錯体の大きな三次非線形光学特性の発見を基にした独創性の高い研究である。分子磁石分野にかたよりがちな遷移金属物質科学研究に新たな方向性を示すことが期待される。スピンコート膜形成が可能な物質合成にも成功し、物性の反射測定を可能にするなど、実験研究は順調に進展していると判断されるが、今後の更なる発展には、理論との連携の強化が望まれる。